



明日行はせられる

熱田神宮遷座式

各官公署學校共にお休み

十一月一日は熱田神宮の遷座式を行はせられるので各官公署學校共に業を休み當日午前八時各學校に於て校長の訓話の後進路式を挙げられることになつてゐる同神宮は明治二十六年の改築後約四十星霜を閲し自然修理を加へるべき状態となつたので國費により工を進めてゐた假設遷座の儀は昭和七年十一月一日に執行はせられ三ヶ年開閉結集行はせられ三ヶ年開閉結集の營の結果として厳しく麗はしき本殿を竣功し附屬殿の改築

平小鐵道愈よ決定か

來三日内田鐵相の視察

平小鐵道の敷設に對して關係部民を擧げて一日も早き實現を熱望し猛運動の結果現在本格的の段取りに先き立つ測量中であるが工費百二十万と云はれる該工事も愈よ着手されるものゝ如く其の爲めらしい

市制施行の調査

平町の市制施行調査委員會は來る二日町會總事堂に開會の案であつたが明日に繰り上げ午後一時から備すと

刊日一十月三年五和昭
第百六千一第 (日曜金)
石城郡新聞社
石城郡新聞社
石城郡新聞社

座講識賞

カリカチュアは其の人の特徴を捉えて滑稽味と誇張味の加はる似顔の繪、漫遊、戯畫、諷刺畫、ボンチ繪の類だ可笑的な繪畫であるものに必ず無邪氣なユーモアな味が添えてある

軍人後援の基金に

毎年の壯丁から卅錢

石城郡の四十年記念事業

明十一年度より實行

石城郡町長會では帝國軍人後援會四十年記念事業として基金募集を計畫し國防の第一線に活動する軍人に對し國民皆兵の建前から生計困難な遺族等の保護は吾人當然の義務であるとして十一年度から毎年の壯丁中現役に服さない者より金三十錢宛の寄附を受けて基本金とし後日に備へることを各町村の議場一致を以て決定されたが年々五六百圓に上る該寄附金を向後十ヶ年斷續することになつた尚ほ同寄附金は各種救護を受け

附添決定

石城郡の本年入營兵に對する町村の附添は昨日の町長會に於て抽籤の結果左記に決定した

- 入營兵の附添決定
- 仙台(鹿島村)千葉(赤井村)若松(入道野村)横須賀(好間村)東京(夏井村)蒲原(神谷村)以上

明日の俵米共販

相場は下落續きて下値見込み

石城郡販賣聯合に於ける明日の俵米共同販賣は生産側に漸く手持減を告げたの端境期に接した手控から各倉庫の出荷左記の如く僅かに七八八俵に止まり従つて商人の買ひ競ひあるものと見られては十一圓七十一錢に比較せば一

依に付き約五十錢の下であつて去る九月下旬に於ける最高値十二圓五十二錢に較ぶれば實に一圓三十錢の崩落であるが米價は當分高歩みの望みなしと唱ひられてゐる

石城新米の出走り

大野村から廿八俵

祝儀値で十一圓六十錢位

石城地方に於ける新米の走りである大野村の産米二十八俵が明日の俵米共販に出荷されたが新米の初値である爲め一般から興味されてゐる同相場の豫想は商人側の買値として一俵十一圓二、三十錢

上遠野の雷雨被害

總損害六萬六千六百圓

郡内に於ける最慘害地

去る二十七日夜の豪雨は石城郡に於て殊に山手方面に慘害を受けたが最も甚大なるは入道野村に於ける共同作業場は全く跡形もなく流失し上遠野村深山山田方面も悲惨であつて郡農會の調査による上遠野村の被害は左記の如く總損害六萬六千六百圓に達すると溺死二名 家屋流失二戸 同半壊六戸 床と浸水一〇戸 同床下六戸 ▲農作物被害 水田皆無作六町三反六畝 三分作一五町八反二畝 五分作一八町四反三畝 畑皆無作二町七反九畝 三分作三町三反▲農地欠損流失一町八反二畝 土砂崩入一町四反五畝 土砂崩入一町七町二反七畝(以上水田) 欠損流失六反五畝 土砂崩入一町二反六畝 土砂崩れ埋没八反五畝▲河川堤防欠損千九百三十四間 畦畔流失

冷害対策の陳情

石城郡町長會に於て昨日

平町會總事堂に總會を開き冷害対策に關する協議を遂げたことは既報の如く右に對する政府への陳情は過般棚倉町に開會せる縣下町長會に於ても協議の上委員を決し上京中の縣會議員と共に關係各省に陳情中である

三坂組合に

産業組合

今日創立委員會 石城郡三坂、澤渡組合村は産業組合の設立なく農山地の經濟に支障多く豫ねて之れが創立を計畫されてゐたが愈よ實現の期を示し兩村から設立委員百餘名を上げて具体化に努

明一日は熱田神宮遷座式に付き

休刊致します

新いわき新聞社

力中であつて今三十一日午後一時から澤渡小學校に右委員會を開き郡産部會から木田主事補臨席して協議を練つた

平國防婦人會無期延期

平町國防婦人會の總會は明日

日紅葉盛る江田の溪谷籠場

平町國防婦人會の總會は明日紅葉盛る江田の溪谷籠場に於て催す筈であつたが都合により無期延期となつた

不穩ピラで脅か

し十圓をせしむ

石城郡内郷村の堀坂居住社會大衆黨石城支部執行委員長鈴木浦治(三)は同郡錦村の昭和入網工場職工上雄吉(三)が去る二十一日解雇されたに對し支部員平田豊治(三)と共に同工場に押かけ川上の退職手当を出せ出さなければ不穩ピラを撒くぞと脅かし十圓をせしめたこと植田署に發覺取調べの上昨三十日平檢事局へ送致された

郡下小學生の

唱歌會

縣教育石城郡部會主催の郡下小學生唱歌會は今三十一日午前十時から平第三校に於て開催各校協賛の小聲樂家等千三百四十名の五十一回に及ぶ演奏ありて午後三時過ぎ閉會す、出演の代表及び人員を上げれば左記の如くである

工女無斷家出

石城郡赤井村の高萩字下代二

七伴義の娘熊田とみよ(二)は

本月一日足利市大正町八六九丹羽織物工場へ見習工女として雇はれたが去る二十三日午前八時無斷家出したので前記郷里を初め八方捜査せるも行方不明のため昨三十日雇主丹羽から平署へ捜索方願出た

各科庭球大會

平町舊跡跡地協賛會第二

十五回(十年度)各科對抗庭

球大會は來る二日同校コートに於て催されるが優勝組に大日本雄辯會講談社からノタルを贈られる

農方

今です麦の種子消毒(七)

縣農試山生

本法は種子を六時間内外(八時間以上は發芽を害す)清水に浸漬し次に温湯浸法を行ふ方法である、即ち「温め桶」と「浸し桶」を準備し前者は湯の温度を華氏一三二度となし之れに冷水に浸漬したる種子を筐に入れて浸し、二回攪拌して筐内の種子を一枚に温む、次に之れを華氏一三〇度の温湯を入れた「浸し桶」に五分間正しく入れて直ちに手早く取り出だし冷水を注ぎて冷却し直ちに播種するか又は陰乾して貯蔵する方法である

三、石灰硫黄合劑加用冷水温湯浸法

また近年小麦黒穂病に特效あることが知られたる本法の前者と異なる點は「浸し桶」に石灰硫黄合劑ボトメ氏比重一度液(冷水にて)を用ふる點のみで他は皆同様である

四、炭酸銅粉末

次に外國で以前より小麦黒穂病防止に炭酸銅粉末の使用が行はれてゐたが此の方法が輸入されてより種子の消毒も簡便に行ひ得るやうになつた、即ち本法は密閉し得る器物に播種用の種子を入れて之れに種子一斗につき炭酸銅十匁の割合に加用し密閉したる後はげしく一分乃至二分間攪動し炭酸銅を種子の全面に附着させる方法である、本法に於て注意すべきは炭酸銅は有毒なれば消毒せるものは食用に供せざること及び操作中炭酸銅を呼吸せざる様マスクをかける

ことである、本法は黒穂病のみには有効なれば他の病害に對しては前に述べた方法の何れかを行ふがよい、

町屋紺平
藤沼醫院
番七〇五電

婦科
平野
電話

債券公債兩管金融
多田井質店
平町大工町 電話五九一零

便利で
經濟な
日下家政婦會の
●**派出婦を御利用**下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です

平町字田町十八番地(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話(呼)一八九番

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需 **鈴木醫院**

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番
分店 二七〇番

秋の流行洋品御案内

新柄シヨール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多数取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛織新型子服とケーブマント

ツヤルツ
〇四一電 四平

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一

内科 院長 醫學博士 石山謙
小兒科 部長 醫學士 佐藤尚輔
外科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿科 部長 醫學士 前山澤
産婦人科 部長 醫學士 黒澤廣
外科耳鼻咽喉科 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿科 部長 醫學士 前山澤
器病科花柳病科 醫學士 前山澤
X線科 醫學博士 石山謙
物理療法科 技術員 石山謙
藥局 藥劑師 鈴木本平
事務局長 鈴木寶雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
●病室完備 ●入院隨意 ●

洋服は **高島屋**

注文並に既製品
秋物 入荷

高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六

好評 たる各種優秀藥

カクレー (三十三日分) 定價一圓
強力驅毒劑
スピロイン (定價二圓) (五圓 十圓)

平町五丁目角
特約販賣店 **山野邊藥局**

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野惠次
日本齒科 醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

金成自動車部

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致します、今回當店に於て貨物自動車部を新設し金成自動車部を專屬として三十五年式新車を以て貨物一般の運輸に従事致しましたから倍舊の御用命と御利用の程を偏へに御願上ます、

鐵道、貨物一般
取扱 **三清宮運送店**
貨物自動車運輸 電話二六七番
自動車の御用は、電話二六七番へ願ひます

金成自動車部

親切 迅速 安全 第一

鐵道、貨物一般
取扱 **三清宮運送店**
貨物自動車運輸 電話二六七番
自動車の御用は、電話二六七番へ願ひます

金成自動車部